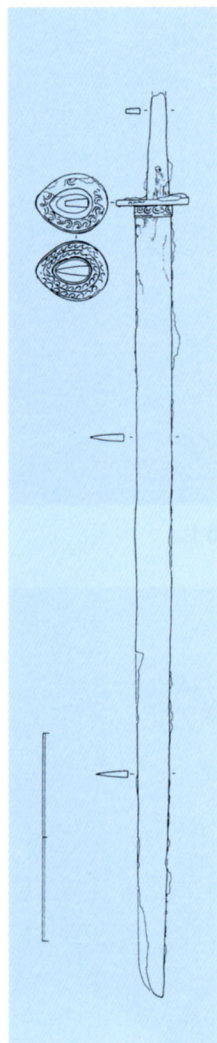
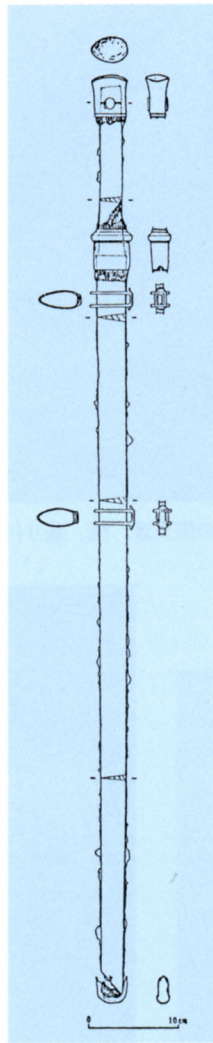


古代の武装



塩古墳群西原18号古墳出土大刀、^{つば}鐺
^{ほこ}塩古墳群・桜山墳群出土鉄刀、銚
 口金具に銀線の象嵌がある。



西原1号古墳（東松山市）出土方頭大刀
 古墳時代の大刀は直刀が基本、方頭大刀は古代の武装としても続く。柄頭金具や大刀を腰に帯びるための足金具までよく残る。



古墳出土の武器・馬具

古墳時代の武器は実用品であるとともに、権威を象徴する威儀具でもあったので、様々の種類と形が時期により変化をみせながら造られ、古墳の主とともに副葬された。地域の古墳からは、開墾時に埴輪などもにこれらの武器や副葬品が発見されてきた。野原と塩では古墳を発掘調査したところ、このような武器・馬具が発掘されている。

大刀と、箭尻は代表的な遺品で、市域でも出土しているが、多くは質素な拵えである。塩・立野古墳では同時期の東松山市西原古墳出土の方頭大刀に近似した部品が出土している。西原古墳では鐺や金具に銀象嵌で裝飾された見事な鉄刀が出土した。この古墳では複数の大刀と金銅張馬具も副葬されており、武装の質が高い。箭尻は鉄製の刃の部分より茎の部分の長いものが多く出土している。当時の武装は埴輪にも表現されており、大刀・槍・戈戟持つ盾持人、冑と甲に身を固めた武人埴輪などをみることができる。



短甲をつけた武人埴輪 上中条出土。(熊谷市)



鉄板を鋲留した短甲 四十坂古墳出土。(岡部町)



挂甲をつけた武人埴輪
野原古墳出土。



戈戟を持つ盾持人埴輪
権現坂埴輪窯跡出土。



馬具 円形のは雲珠という馬装の金具 塩古墳群
西原18号古墳出土。



鉄製長茎の箭尻 塩古墳群西原18号古墳出土。

熊谷市立江南文化財センター (住所：熊谷市千代329 電話：048-536-5062)

参考文献 江南町教育委員会 2005 『江南町のあゆみ』 江南町史普及版

